

いよいよ寒さが身に染みる季節になってきましたね。インフルエンザも流行っていますので、体に気をつけて、良い年末年始をお過ごしください。今回は、「好きなこと・得意なことを見つけるためにできること」の後半、好きなこと・得意なことが見つからない理由の残りの2つについてお伝えいたします。

## 3、大きなビジョンや天職と混同している

自分の好きなことや得意なことを、「こうなりたい」「これが大事」というビジョンと混同していることもあります。

例えばサッカーが好き・得意だからサッカー選手になることだけ、につながるわけではありませんが、子どもは好きなことや得意なことから、ダイレクトに「ずっと続く天職」を見つけなければと思っていることもあります。

ですが、「ずっと続けられるかどうか」はあまり気にしなくても良いのです。「今やりたい」と思うことで十分なのです



## 4、やりっぱなし

これが好きそう、興味がある！と思っても、ただそれをやるだけでは磨かれないこともあります。

好きなこと・得意だと思ふことをその時夢中になって取り組んでいても、そのピークが過ぎてしまえば、手付かず状態になってしまったり、途中の状態で終わってしまうのです。ですが、せっかくならやったことをさらに活かしたい！好きのタネや得意のタネを見つけて自分の特徴や強みにしたい！と思うのであれば、その活動の中でより「好きだと思ったこと」や「得意だと気づいたこと」を探してみると、きっと深めることができるでしょう。

例えば、進路の選択で「プログラミングに興味があるから」とそのコースを選び、決められたカリキュラムに参加しているだけだと、自分だけの好きのタネから専門性を育てられないのです。

ですが、せっかく興味をもって始めたのなら、そこから「さらに好きなこと」や「得意なこと」に意識的になってみるのが大切です。

そしてそれを育てる・磨くような行動をしてみましょう！

その場で「さらに好きなこと」や「得意なこと」に力を入れてみたり、他の場面でそれらを使えないかと楽しく考えてみるのも良いでしょう。



これからは「個」としての「好き」「やってみたい」という気持ちが大事なキーワードになります。

「好き」というエネルギーはとても強くて、人を前向きに行動させます。

行動が自分を育てて、世界を変えます。どんなに好きなことや得意なことがあったとしても、それに気づいて行動しないと育ちません。まずはお子さまの持っている「好きなこと」「得意なこと」のタネ探しからしていきましょう。

